

平成 28 年度対ボツワナ草の根・人間の安全保障無償資金協力

「セレビピクウェ職業訓練施設整備計画」引渡式の実施

在ボツワナ日本国大使館

平成30年11月15日

平成30年11月15日、平成28年度草の根・人間の安全保障無償資金協力案件「セレビピクウェ職業訓練施設整備計画」の引渡式が、竹田浩三駐ボツワナ日本国大使、被供与団体「ヒュマナピープルトゥーピープル」代表者及び来賓その他関係者の出席の下、セレビピクウェにて行われました。

本計画により、当国首都ハポロネから約400km離れた当国北東部に位置するセントラル地区セレビピクウェにおいて、職のない貧困層に対して技能習得の機会を提供するために、被供与団体のコミュニティセンターで行う裁縫、農業及び養鶏の職業訓練を実施するために必要な物品が整備されました。本件実施により、セレビピクウェの貧困層に、裁縫、農業、及び養鶏の職業訓練を行うことができ、年間約200名の貧困層の技能習得が見込まれ、受講者の所得向上が期待されます。

引渡式において、竹田浩三大使は、「本件の成果は、『人に魚を与えるのではなく、魚の捕り方を教える』という職業訓練の最も重要なコンセプトを示しており、本件によりこのコンセプトが実現されたことは素晴らしい」と述べました。



(写真) テープカットする竹田大使



(写真) 裁縫の職業訓練用機器